

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 8 巻第 33 号

第 33 週( 8月11日 ~ 8月17日)

発行年月日:平成20年(2008年) 8月21日

発行 行:滋賀県衛生科学センター内  
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

### 今週の感染症発生動向

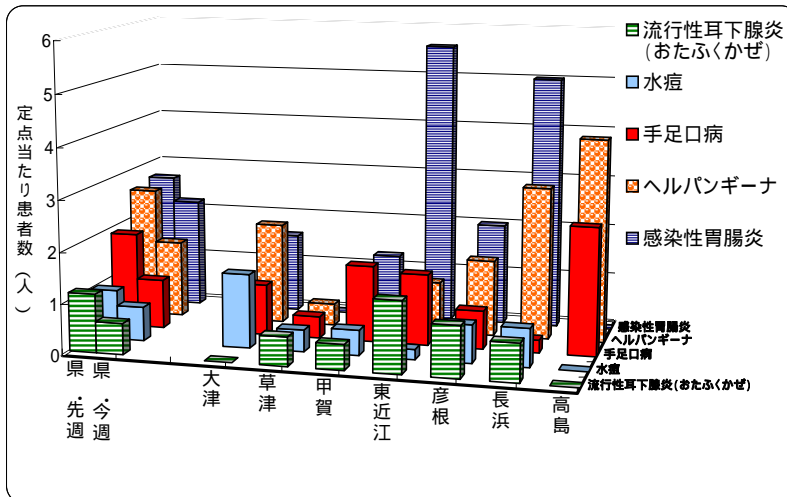
#### 腸管出血性大腸菌感染症の発生は先週よりさらに増加!!

定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、前週の報告数より非常に少なくなっています。今週微増となった疾患は伝染性紅斑(リンゴ病)および細菌性髄膜炎のみで、他の大部分の疾患については減少しています(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」による保健所管内別の警報発生状況は、ほぼ先週と同様で咽頭結膜熱(プール熱)、手足口病、ヘルパンギーナで警報発生基準値を超えている保健所があります(詳細については、今週の発生状況参照)。

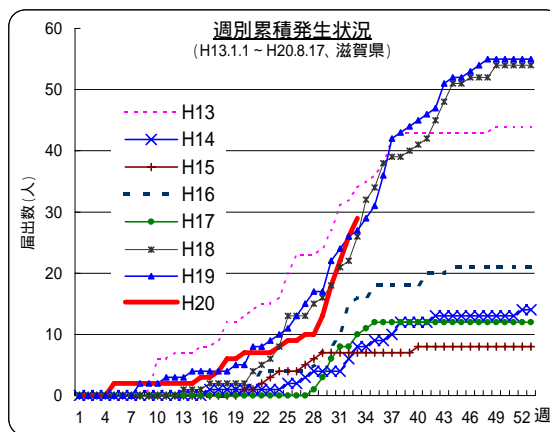
全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で4名、三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症で3名、四類感染症のA型肝炎で1名、コクシジオイデス症で1名、五類感染症のアメーバ赤痢で1名、麻しんで1名の届出がありました。

#### 上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第33週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、ヘルパンギーナ、手足口病、水痘、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の順に多くなっています。水痘は大津で、ヘルパンギーナは高島で、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)は東近江で先週よりやや多くなっています。

#### 腸管出血性大腸菌感染症の発生状況(平成13年~平成20年、滋賀県)



平成20年8月17日現在における届出数 29名の内訳は、男性 11名、女性 18名、診断の類型は患者 20名、無症状病原体保有者 9名です。

血清型・毒素型は

O157・VT1 & VT2 13名、O157・VT2 12名、O157・VT1 2名、O145・VT2 1名、O26・VT1 1名です。

年齢は

0~9歳 9名、10~19歳 5名、20~29歳 10名、30~39歳 2名、50~59歳 2名、60歳~ 1名です。

保健所管内別では、大津 10名、草津 8名、東近江 5名、彦根 6名です。

感染経路別では、経口感染 14名、不明 15名です。

また、経口感染のうち数名はユッケ、センマイ等の生肉を食べています。

## 1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいますが、届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (33週)	累積報告数		平成19年報告数	
			滋賀 (33週)	全国 (33週)	滋賀	全国 <sup>(*)1)</sup>
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	4	175	16,636	178	20,151
三類感染症	細菌性赤痢	0	0	183	<sup>(*)2)</sup> 2	450
	腸管出血性大腸菌感染症	3	29	2,310	55	4,586
四類感染症	パラチフス	0	0	22	1	22
	E型肝炎	0	0	32	1	54
	A型肝炎	1	3	117	1	154
	コクシジオイデス症	1	1	2	0	3
	デング熱	0	1	45	1	89
	マラリア	0	1	26	1	52
五類感染症	レジオネラ症	0	4	543	8	655
	アメーバ赤痢	1	6	545	15	781
	ウイルス性肝炎	0	3	148	2	231
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	1	102	4	148
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	77	1	96
	後天性免疫不全症候群	0	9	944	9	1,449
	ジアルジア症	0	1	53	1	56
	梅毒	0	1	510	2	714
	破傷風	0	3	70	0	88
	急性脳炎	0	1	121	2	216
	風しん <sup>(*)3)</sup>	0	1	261	-	-
	麻しん <sup>(*)3)</sup>	1	37	10,635	-	-

\*1: 平成19年の全国報告数は、平成19年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

\*2: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。

\*3: 平成20年1月1日から全数把握対象疾患に変更。 - ; 定点把握対象疾患のため、全数報告数は未集計

### 全国における全数報告感染症の発生状況 - 第33週(8/11~8/17) -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: デング熱 3例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群 22例
二類感染症: 結核 293例	日本紅斑熱 6例	クリプトスポリジウム症 1例
三類感染症: 細菌性赤痢 4例	レジオネラ症 13例	クロイツフェルト・ヤコブ病 2例
コレラ 1例	レプトスピラ症 1例	ウイルス性肝炎 4例
パラチフス 1例	五類感染症: アメーバ赤痢 10例	劇症型溶血性
腸管出血性	梅毒 10例	レンサ球菌感染症 1例
大腸菌感染症 216例	ジアルジア症 2例	バンコマイシン耐性
四類感染症: A型肝炎 3例	破傷風 2例	腸球菌感染症 2例
コクシジオイデス症 1例	風しん 2例	急性脳炎 1例
	麻しん 32例	

## 2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点\*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。\* 疾患により定点数は異なります。

### (1) 疾病別・週別発生状況(平成20年第28~33週、7/7~8/17)

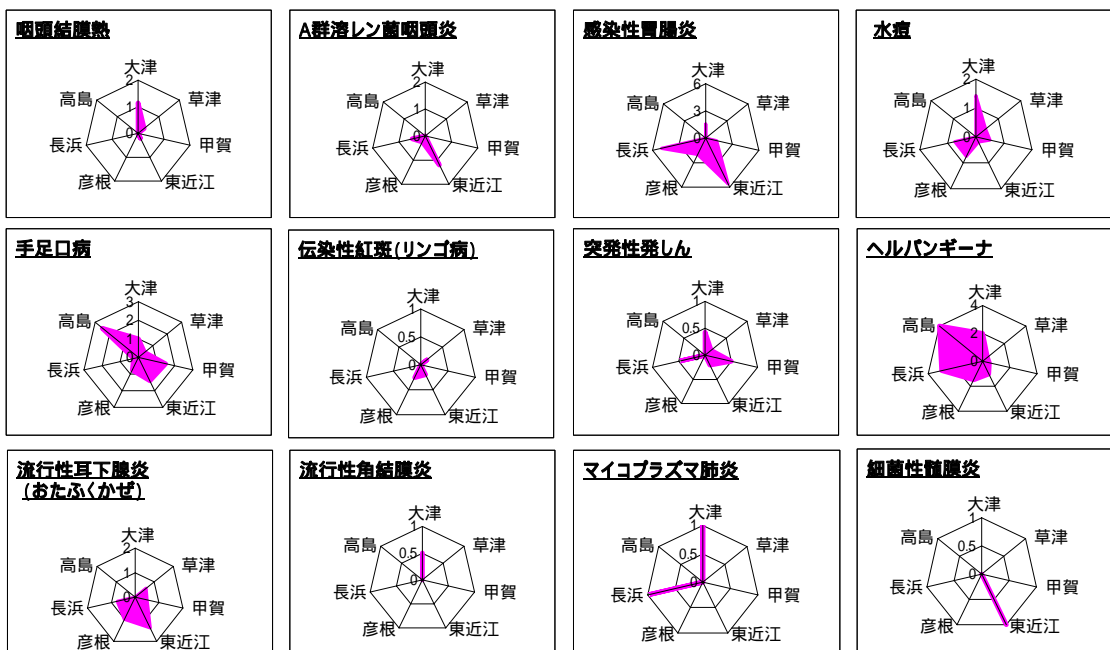
疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)										
	28週 (7/7~)	29週 (7/14~)	30週 (7/21~)	31週 (7/28~)	32週 (8/4~)	33週 (8/11~)	29	30	31	32	33
インフルエンザ	0	0	0.02	0	0	0					
RSウイルス感染症	0.06	0	0	0	0	0					
咽頭結膜熱(プール熱)	0.82	0.73	0.55	0.64	0.55	0.33					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.91	0.64	0.61	0.48	0.33	0.27					
感染性胃腸炎	3.79	3.36	2.91	2.52	2.67	2.18					
水痘	0.94	0.73	0.88	0.27	0.97	0.67					
手足口病	3.06	2.82	1.73	1.61	1.88	0.97					
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0.12	0.09	0.06	0	0.09					
突発性発しん	0.48	0.55	0.55	0.61	0.52	0.27					
百日咳	0	0	0	0.03	0.03	0					
ヘルパンギーナ	6.24	7.79	5.03	3.09	2.58	1.52					
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.42	1.15	1.12	0.58	1.15	0.61					
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0					
流行性角結膜炎	0.13	0.13	0	0.25	0.38	0.13					
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0.14					
無菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	0	0					
マイコプラズマ肺炎	0.29	0.14	0.57	0.43	0.29	0.29					
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0.14	0					

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第33週、8/11～8/17)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.33	1.14	0.29	0	0.20	0	0	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.27	0	0	0	1.20	0.25	0.50	0	
感染性胃腸炎	2.18	1.57	0	1.25	5.60	2.00	5.00	0	
水痘	0.67	1.43	0.43	0.50	0.20	0.75	0.75	0	
手足口病	0.97	1.00	0.43	1.50	1.40	0.75	0.25	2.50	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.09	0	0.14	0	0.20	0.25	0	0	
突発性発しん	0.27	0.43	0.14	0.50	0.20	0	0.50	0	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	1.52	2.00	0.43	0.50	1.00	1.50	3.00	4.00	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.61	0	0.57	0.50	1.40	1.00	0.75	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.13	0.50	0	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	1.00	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.29	1.00	0	0	0	0	1.00	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加 ■ は警報発生中 ■ は注意報発生中

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況:

[戻る](#)

多くの医療機関で休診となったこともあり、大部分の疾患で先週の報告数より減少していますが、今後の発生状況に注意する必要があります。また、マイコプラズマ肺炎については第27週(6/30～7/6)以降連続して発生しています。

滋賀県における保健所管内別警報発生状況(平成20年第33週)

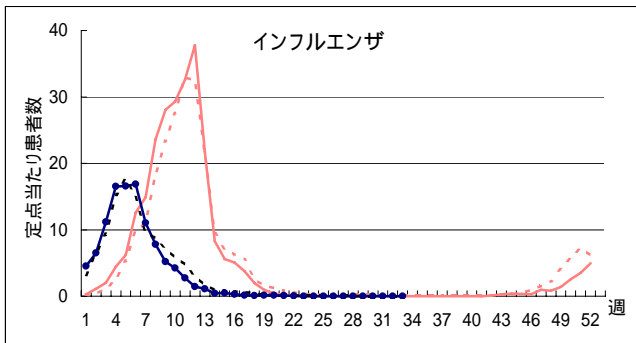
疾患名	県	保健所管内別							警報開始基準値	警報終息基準値
		大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島		
咽頭結膜熱(プール熱)	0.33	1.14	0.29	0	0.20	0	0	0	2.00	0.10
手足口病	0.97	1.00	0.43	1.50	1.40	0.75	0.25	2.50	5.00	2.00
ヘルパンギーナ	1.52	2.00	0.43	0.50	1.00	1.50	3.00	4.00	6.00	2.00

■ : 警報開始基準値または警報終息基準値を超えています。 \* 基準値はすべて定点当たり患者数(人)です。

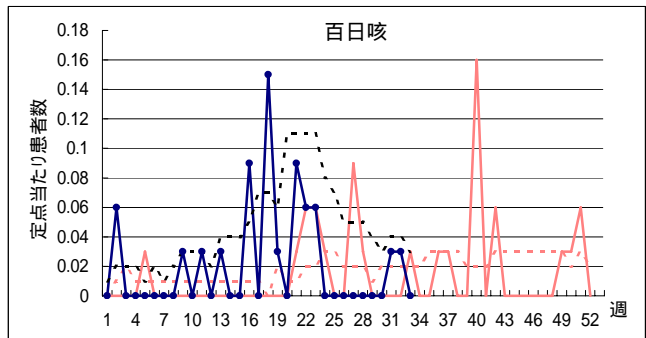
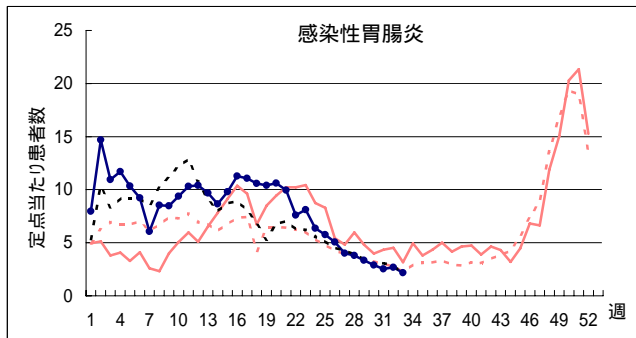
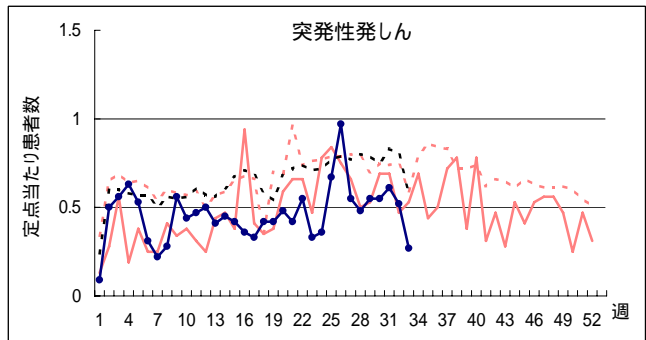
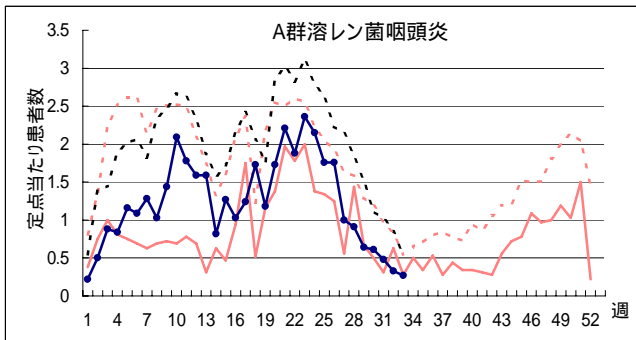
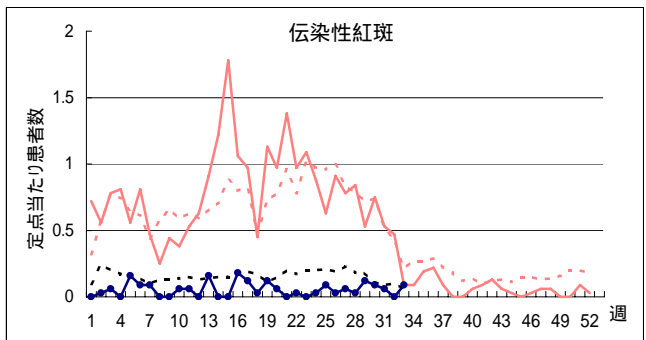
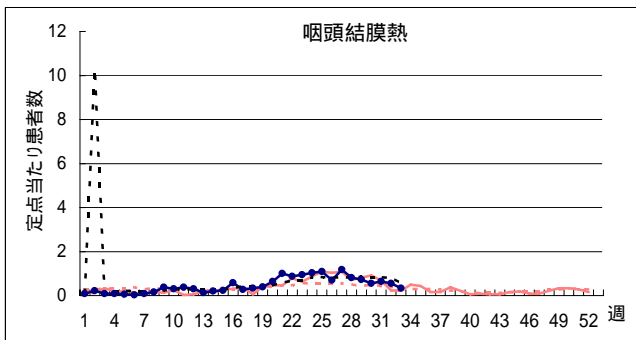
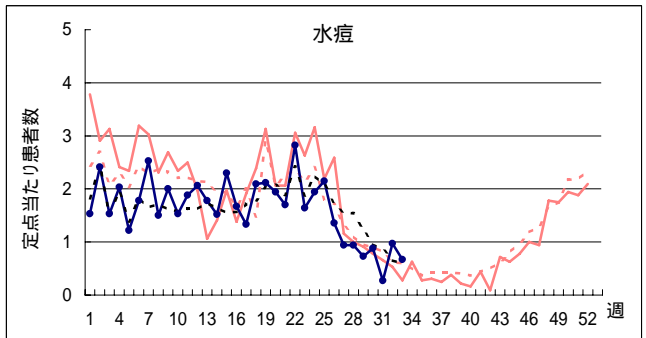
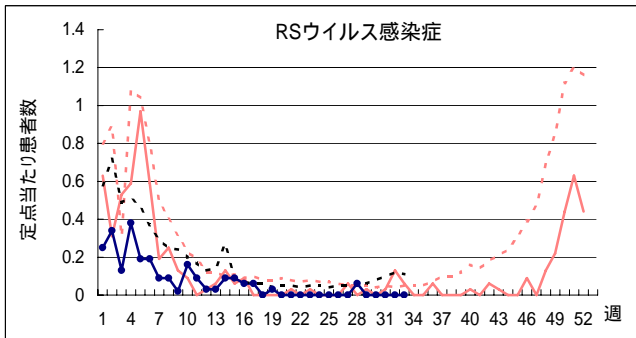
先週とほぼ同様の発生状況となっています。手足口病は草津および甲賀で、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)は甲賀で警報終息基準値以下となっていますが、今後の動向に注意が必要です。

**流行発生警報(警報)**: 流行発生警報という表現により大きな流行が発生した、または発生している可能性があるという情報を提供しています。

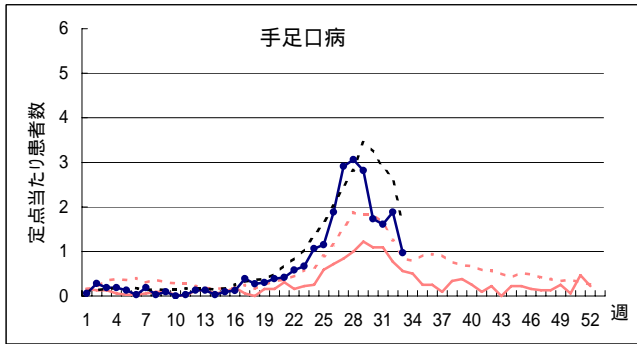
# 疾病別定点当たり患者数(平成20年第33週、H19.12.31~H20.8.17)



H19 { 滋賀 (solid red line)  
 全国 (dotted red line)  
 H20 { 滋賀 (solid blue line with dots)  
 全国 (dotted black line)



# 疾病別定点当たり患者数(平成20年第33週、H19.12.31～H20.8.17)



H19 { 滋賀 ————  
       全国 .....  
 H20 { 滋賀 ●—●—  
       全国 .....

